

友愛の里 慰労会

友

愛の里では、各活動班の日々の頑張りをねぎらい、英気を養う日として年度末に慰労会を企画しています。令和3年度は3月11日（日）に家政班、23日に作業グループの慰労会を実施しました。

家政班は主に施設内共用部分の清掃に従事し、雑巾縫いや消毒など利用者が快適に過ごせる空間を維持するための活動をしています。



ハンバーガー弁当に舌鼓を打つ家政班

作業グループは主に椎茸栽培に取り組み、ほかにも、季節に応じた施設周辺の環境整備にも携わっています。

慰労会は両班ともに施設内で実施しました。家政班メンバーからは「ハンバーグとケーキが食べたい」との意見が多かったため、テイクアウトしたハンバーグ弁当と、お菓子屋さんでそれぞれが食べたいケーキを購入しました。作業グループは町内の飲食店にお弁当を依頼しましたが、食事内容のリクエストを快く引き受けてくれ、お弁当の包みを開けた瞬間、「わあ、可愛い。ポリューミー！」と私も思わず声を出してしまいました。

最後はビンゴゲームを行い、景品は食後のスイーツ。もちろん全員分用意しましたが、中身は開けてからのお楽しみ。短い時間でしたが、それぞれに息抜きの時間を過ご



お弁当を囲んでポーズを取る作業グループ

すことが出来たのではないのでしょうか。

慰労会自体も新型コロナウイルス感染防止のため、施設外での実施ができない年が続いています。そんな時こそ町内の飲食店を応援したい！ということでごチタクを利用しました。また機会があったらぜひ利用したいと思います。そして、飲食店に活気が戻り、利用者の皆さんと外食を楽しめる日を心待ちにしています。

さぼーとステーション
ゆうあい 慰労会

デイセンター憩いの丘では、3月19日に生産活動班の1年間の活動をお互いにねぎらい、次年度に向けての反省と決意を新たにするため、慰労会を開催しました。

コロナ禍ということもあり、施設内の音楽室で、ケーキとジュースを食べながらカラオケを楽しみました。初めはカラオケが苦手と話していた人も、楽しい雰囲気になら披露してくれました。また、新曲にチャレンジする人や、得意な歌を披露してくれる人など、みんなで楽しむことができました。

さて、施設がスタートして1年が経過しましたが、初めは戸惑いもありました。今まで行ってきたトイレ掃除やモップ掛けなども手探りで確認し、利用者や職員が一丸となって、工夫しながら行ってきました。今では、スムーズに自分の役割分担箇所の掃除を行い、それ以外にも気づい

ところを進んで掃除してくれます。また、今まで使用したことのない掃除用具も使いこなし、掃除を行っています。

今回の慰労会では、利用者の方々に昨年度の反省と、今年度の抱負を披露してもらいました。新しい施設での活動や新しい職員との関り、考慮したことや慣れてきたこと、体調面でも無理をせず、館内をピカピカに掃除していきたいなど、さまざまな決意の声が聞かれました。

今年度は、昨年度の反省を活かし、事故や怪我なく、生産活動班での活動を継続していくことと1人ひとりが決意できた会となりました。



おいしそうにケーキを食べる生産活動班